



わき 脇れい子

藤沢市議会議員

2017年 晩秋号

だより

人が
活きる
まち!!

HP : wakireiko.jp

E-mail : reich0513@yahoo.co.jp



討議資料

発行：脇れい子と手をつなぐ会 〒251-0047 藤沢市辻堂5-20-11 Tel/Fax : 0466-35-0762

藤沢の子どもたちを応援します！

子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、 夢と希望を持って暮らせる藤沢の実現を

9月定例会の一般質問では、子どもの貧困対策を取り上げました。

国では「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立、2014年1月17日に施行され、この法律に基づき、「子供の貧困対策に関する大綱」が策定されています。大綱では、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現のために、10の基本的な方針と25の子どもの貧困に関する指標を定め、指標の改善に向けた当面の重点施策として、「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者に対する就労の支援」、「経済的支援」、「子供の貧困に関する調査研究等」、「施策の推進体制等」を定めています。

藤沢市でも、子どもの貧困対策は重要との認識に立っています。また、この「貧困」について藤沢市は、生存をしていくことに支障がある「絶対的貧困」として捉えるだけでなく、「相対的貧困」として捉える必要があるとしています。この「相対的貧困」とは、いわゆる「普通」とされる生活を送ることができない状態、たとえば、その子の年齢に相応しい本がない・通常は持っているようなおもちゃやスポーツ用品を持ってない、などの物質的剥奪や、人とのつながりの欠如、さらには教育や経験の剥奪など、外からは見えにくいもので、生活する国や地域、時代によって変化するものとされています。このような見えにくい「相対的貧困」を可視化し、貧困対策を推進しなければなりません。

藤沢市ではすでに、すべての子どもたちが健やかに成長できるよう、環境整備、子育て支援に取り組んでいます。ただ「縦割りの行政運営」で行われていて、「それは福祉だから」「それは学校で」「それは子育ての方です」という弊害があります。

一元化された窓口と組織、そして目標を設定した「計画」が必要だと思います。

まず市の「政策」目標を定め、「施策」体系を示し、それに基づいて各部門が連動して「事業」を展開していくのです。

貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちが差別されることがない社会の実現のために、政策の実施を市に法的に義務付ける条例制定が必要だと考えます。
貧困の連鎖を断ち切り、藤沢の子どもたちが同じスタートラインに立って未来を切り開いていかれるよう、しっかりと応援をしていきたいと思ひます。



性暴力・性犯罪被害者が二次被害を受けないよう、 寄り添った支援を！

性暴力被害者支援についても一般質問を行いました。性暴力・性犯罪被害者は、加害者からだけでなく、社会からの被害、いわゆる二次被害を恐れどこにも相談できないのが現状です。被害にあった自らを責めるようなことがないよう、十分に配慮し、安心安全な相談支援体制が重要です。神奈川県では今年8月から、「かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター・かならいん」を設立し、総合的な支援を開始しました。

性暴力・性犯罪は人間の尊厳を踏みにじる許し難い行為です。暴力を容認しない社会づくりと、性暴力・性犯罪による精神的な被害への理解を深め、被害者の人権が擁護され、適切な支援を受けられるよう、関係機関と連携し、藤沢市としてもしっかりと取り組むことを求めました。

ノーベル平和賞にNGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)

ICANは、広島や長崎の被爆者の声を広く世界に伝え、核兵器禁止条約を求める国際世論を高め、条約の成立に貢献した団体です。核兵器禁止条約について日本は、核保有国と非核保有国の橋渡しをしたいと言いつつ、米国の核の傘の下一貫して、条約に署名はしないと表明しています。ICANのノーベル平和賞受賞を契機に、世界の核廃絶に向けた取り組みが加速し、唯一の戦争被爆国日本の政府を動かしてほしいと願います。

藤沢市議会でも9月定例会で「核兵器禁止条約」に署名・調印するよう藤沢市議会として意見書の提出を求める請願が提出され、総務常任委員会で審議がされました。

総務常任委員会では賛成4、反対3で採択 ⇒ 委員会報告を受け本会議では、賛成16、反対19で残念ながら不採択となりました。

2017衆議院総選挙を終えて

内閣支持率が下がっているにもかかわらず、自公で3分の2を占める結果となった10月22日投開票の衆議院総選挙。安倍政権の続投を阻止できませんでした。戦前のようなファシズム社会に向かっていくのではと危惧します。ただ明るい光は、神奈川12区で立憲民主党の「あべともこ」さんの当選です。今回初めて小選挙区での当選を果たされました。私は、 (アイ)女性会議神奈川県本部で活動をしている縁で、2000年の当選から応援をしています。豊かな民主主義が根付く国にしていきたい、リベラル勢力の先頭に立ち、今後もさらに活躍されることを期待します。

◆◆◆◆◆ 今後の予定 ◆◆◆◆◆

◎藤沢市議会 12月定例会 12月1日(金)～12月21日(木)

脇れい子が一般質問を行います。

12月18日(月)「障がい当事者・その家族の視点にたった施策のさらなる推進について」

藤沢市議会議員

わき
脇れい子

☆経歴

1957年辻堂生まれ
藤沢市立高砂小学校卒
藤沢市立湘洋中学校卒
神奈川県立平塚江南高等学校卒
日本女子大学文学部史学科卒

☆現在

藤沢市議会議員2期目
(民主クラブ)
 女性会議神奈川県本部 事務局長
全国フェミニスト議員連盟 会員
自治体議員立憲ネットワーク 会員

